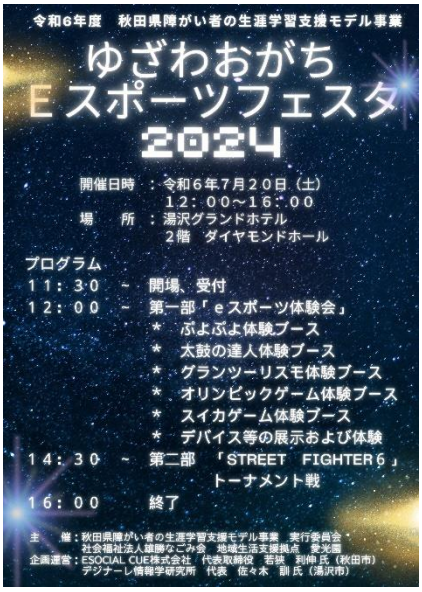
別紙１

活動報告書

事業名／講座名	令和６年度　秋田県障がい者の生涯学習支援モデル事業 ゆざわおがち e スポーツフェスタ 2024
日時	令和６年７月２０日（土）　１２時　から　１６時まで
場所	湯沢グランドホテル　２階　ダイヤモンドホール
参加人数（内訳）	参加者　９７名 （一般　58 名、障がい者　18 名、高校生ボランティア４名、 eSocial Cue 株式会社　４名、デジナーレ情報学研究所　４名、 愛光園拠点スタッフ　９名）
講師	eSocial Cue 株式会社（秋田市）若狭　利伸　氏 デジナーレ情報学研究所（湯沢市）佐々木　訓　氏
実施状況	今回のイベントでは、障がいの有無や年齢、性別に関係なく、ｅスポーツを通じて、楽しく交流することができました。さらには、障がいをお持ちであっても秋田市から駆け付けてイベントに参加してくださったことは喜ばしいことです。また障がい者一人ひとりに合わせたデバイスを使用して、ｅスポーツ体験やストリートファイター６のトーナメント戦を開催できたことで、誰でも平等にできるスポーツであると感じました。

別紙１

	
成果○と課題●	○年齢や障がいの有無に関わらず、幅広い方からの参加希望があり、多くの方々が楽しまれていた様子でした。 ○ストリートファイター６のトーナメント戦は募集人数以上のエントリーがあり、大会は成功裏に終えました。 ○トーナメント戦の優勝者ならびに準優勝者は障がいがある方でしたので、誰でも平等なスポーツであると感じました。 ●イベント周知について、市内の支援学校や障がい福祉サービス事業所にご案内したが、障がいがある方の参加人数が思っていたよりも少なかったです。 ●全体的に、ｅスポーツ体験会については申込制としたことで、申込者のハードルが上がったのではないかと感じました。

活動報告書

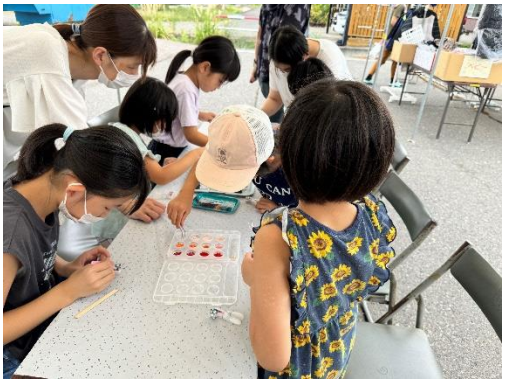
事業名／講座名	令和６年度　秋田県障がい者の生涯学習支援モデル事業 ゆざわまるっとマルシェ
日時	令和６年９月１４日（土）　　１３時　から　１６時まで
場所	地域生活支援拠点 愛光園　駐車場
参加人数（内訳）	参加人数　１５０名以上 ワークショップの参加者は以下のとおりです。 ①フラワーバルーン体験　　３３名 ②ネイルチップ体験　　２７名 ③レジンアクセサリー体験　２５名 ④オリジナルグッズ体験（マグカップ、トートバッグ、ミニタオル）４２名 ⑤学生服リユース、⑥アンテナショップ、⑦こどもの薬局体験、⑦子ども用品リユースのブースにも多数の方が訪れていました。

別紙１

講師	①エスビィプランニング　様 ②福祉ネイリスト　様 ③ネイルコンシェルジュ　様 ④株式会社フォラックス教育　様 ⑤株式会社フォラックス教育　様 ⑥秋田県立稲川支援学校　様 ⑦株式会社ファーマックス　雄勝調剤薬局　様 ⑧もったいないは世界を救う　様
実施状況	今回のイベントでは、地域生活支援拠点愛光園の秋まつりのイベントと合同開催ということで、たくさんの方々にご来場いただきました。 ワークショップは大盛況で、ネイルチップ体験やレジンアクセサリー体験は、当日に追加で参加募集をしましたが、あっという間に予約でいっぱいとなりました。フラワーバルーン体験では、参加者の皆さんは上手にアレンジメント風にかわいく作られていました。 また、オリジナルグッズ体験は、世界に一つだけのマグカップやトートバッグなどを作れるということで、イベント終了時間を過ぎても来場者が残っているブースもあり、予想以上の大盛況でした。 ネイルコンシェルジュ様のご厚意で、ご利用者の方々に福祉ネイルの施術を行っていただき、ご利用者の方々は「爪が綺麗だと嬉しいよね」と大変喜ばれていました。 その他にも、雄勝調剤薬局のこども薬局体験は、白衣を着た子どもたちで賑わっておりましたし、稲川支援学校のブースでは生徒さんたちは夏休み明けで作製時間が短い中にも関わらず、品物を出店していただきました。 これまで、コロナ禍を理由に地域を巻き込んでのイベントを控えてきましたが、ようやく障がい児者の皆さんと地域の人たちと交流する機会を持つことができました。 次年度も開催していただきたいと地域の皆さんからの声も聞かれましたことは嬉しく感じておりますので、地域の声を大事に次年度も取り組んでいきたいと思います。

別紙１

<table>
<tr>
<td></td>
<td>



</td>
</tr>
<tr>
<td>成果〇と課題●</td>
<td>〇地域交流イベントとして、事業所の秋まつりと合同開催したことで、たくさんの方々にご来場いただきました。
〇地域との交流が少ないですが、少なからず障がい児者の事業所を知っていただく、良い機会となりました。
●チラシの準備が間に合わず、イベントへの周知が開催２週間前となったことで、集客に不安を感じました。
●前日まで雨予報でしたが、当日は天気にも恵まれて無事に開催することができました。しかし、雨天時には屋内で開催するスペースがないため、屋外でイベントを開催するために、雨天時の対策が必要だと感じました。</td>
</tr>
</table>

別紙１

活動報告書

事業名／講座名	令和６年度　秋田県障がい者の生涯学習支援モデル事業 ゆざわおがち防災フェスティバル
日時	令和６年１１月１７日（日）　　１３時００分　から　１５時３０分まで
場所	湯沢市文化交流センター（湯沢市字沖鶴６９－５）
参加人数（内訳）	参加人数　　２５０名以上 ・一般　　２００名以上 ・障がい者　　４０名ほど ・高校生ボランティア　　２名 ・イタリア食堂ビランチャ　　１名 ・CommunityCafé ふれんどり　　２名 ・愛光園拠点スタッフ　　１８名
講師	①　秋田県生涯学習センター　５名 ②　湯沢市総合防災班　３名 ③　自衛隊秋田地方協力本部 横手地域事務所　３名 ④　湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部　消防署　９名 ⑤　湯沢警察署　３名 ⑥　ミドリ安全株式会社　横手営業所　１名 ⑦　株式会社セフティ　３名 ⑧　株式会社ファーマックス　雄勝調剤薬局　５名 ⑨　もったいないは世界を救う（こどもフリーマーケット）　３名
実施状況	近年、様々な自然災害が発生しており、防災の取り組みは地域の重要な課題です。今回のイベントは、出展企業や官民協力のもと、年齢・性別・障がいの有無に関わらず、子どもから大人まで楽しく防災および備災の知識を学び、自然災害への意識高揚を図ることを目的として開催しました。 屋外のブースでは消防本部で行った火災時の煙体験ハウスならびに水消火器訓練は、体験できないようなことをご来場の皆さまに体験することができ、日ごろから訓練することが大事であることを学びました。そして自衛隊ブースでは、1/2ｔトラックの乗車体験や缶バッチ作製のワークショップは子どもたちに大人気でした。愛光園ブースの炊き出しは、無料でおにぎりと豚汁を提供しましたが、予想以上に多くの方々が集まり、あっと言う間に２００食が完売となりました。 屋内のブースでは、災害時に役立つ防災食および防災用品の展示コーナーを設けて、日ごろから備えておきたいグッズや災害時に持ち出せる最低限必要なグッズに触れて、実践的な備えを体験しました。そのほかに、湯沢市総合防災班では段ボールベッドなどに触れる体験を行い、避難所の設備を知っていただきました。さらに、県生涯学習センターでは、新聞紙で紙皿を作る防災ワークショップの実施や災害時に役立つアウトドアグッズを紹介していただき、手軽に取り入れられる防災対策を学びました。 あいにくの天気でしたが、たくさんの方々にご来場いただき、防災ならびに

別紙１

	備災の知識を共有することができたイベントになったと感じました。

別紙１

自衛隊秋田地方協力本部　横手地域事務所

自衛隊秋田地方協力本部　横手地域事務所（ワークショップ　缶バッチづくり）

別紙 1

湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部　消防署（水消火器体験）

湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部　消防署（着装体験）

別紙１

湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部　消防署（煙体験ハウス）

別紙１

地域生活支援拠点　愛光園（炊き出し）

別紙 1

湯沢市総合防災班（消防団積載車両展示・乗車体験）

湯沢警察署（警察車両展示・制服試着体験）

別紙 1

湯沢警察署（警察車両の乗車体験）

湯沢警察署（震災時のパネル展示）

別紙 1

ミドリ安全株式会社 横手営業所（防災食などの展示）

ミドリ安全株式会社 横手営業所（簡易トイレ）

別紙 1

	株式会社セフティ（防災用品の展示）

別紙 1

株式会社ファーマックス 雄勝調剤薬局

株式会社ファーマックス 雄勝調剤薬局（災害時簡易食器作製体験）

別紙 1

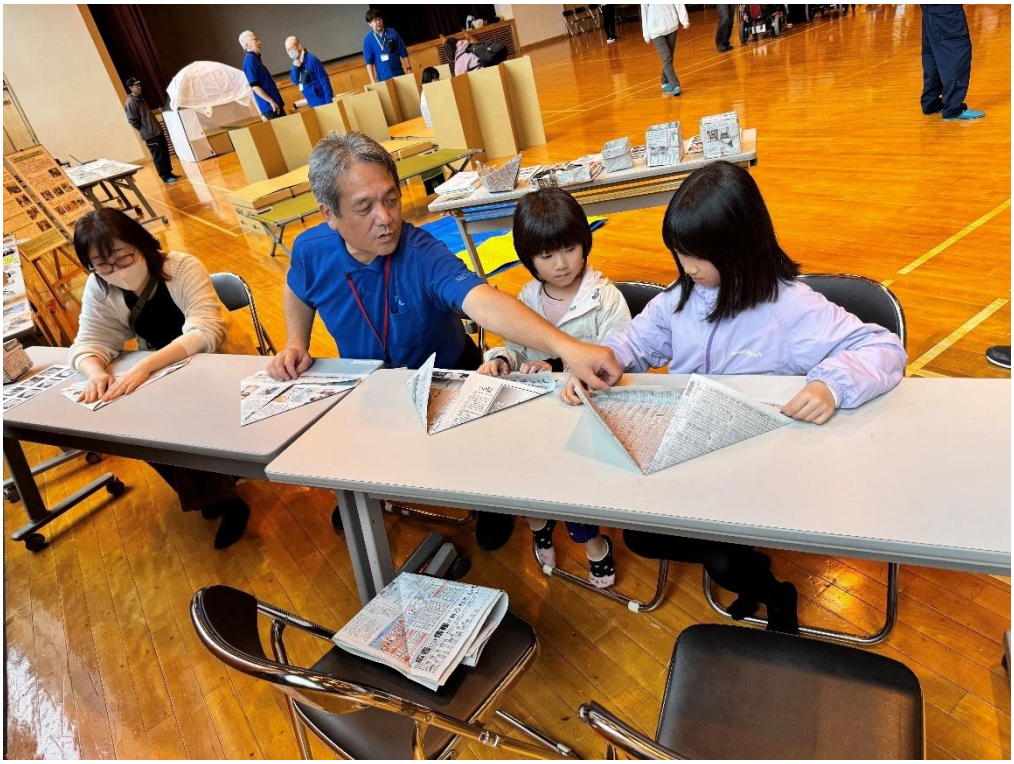
湯沢市総合防災班（避難所体験）

湯沢市総合防災班（段ボールベッド体験）

別紙１

湯沢市総合防災班（令和６年７月２４日発生　湯沢市大雨による被害状況写真）

秋田県生涯学習センター（ワークショップ　新聞紙皿づくり）



別紙 1

秋田県生涯学習センター（新聞紙で作る作品紹介）

秋田県生涯学習センター（アウトドアグッズ紹介）

別紙１

① 障がいがある人も楽しく参加

② 障がいがある人も楽しく参加

別紙１

こどもフリーマーケット

飲食ブース（イタリア食堂ビランチャ）

別紙１

	飲食ブース（CommunityCafé ふれんどり）
成果○と課題●	○防災力向上を目的に官民一体となって、イベントを開催することができました。 ○イベントのお知らせを新聞の折込や市の広報で周知し、公共放送（NHK あきた、ABS　秋田放送）では、週末イベントのお知らせのコーナーに取り上げていただきました。 ○会場使用を本事業のイベントを優先的に使用させていただくことができました。 ○予想以上の方々にご来場いただき、大変うれしい限りでした。そして、防災への意識の高まりや学びの場を提供できたことで、ささやかではありますが、地域貢献ができたと感じました。 ●炊き出しは予想以上に多くの方が集まり、すべての人に行き渡りませんでした。 ●屋内で開催した備災に関するブースでは持参するものが限られていたこともあり、人がまばらでありました。こちらについては、私たちのほうで積極的に宣伝できなかったことが原因として考えられました。 ●雨が降ってきたため、屋外ブースは終了時間を３０分早く切り上げてしまいました。 ●会場内外のアナウンスが単調で、スムーズに進行することができませんでした。

別紙１

活動報告書

事業名／講座名	令和６年度　秋田県障がい者の生涯学習支援モデル事業 ゆざわおがち NEW スポーツフェスタ
日時	令和７年１月１９日（日）　１０時３０分　から　１４時４５分　まで
場所	湯沢市文化交流センター（湯沢市字沖鶴６９－５）
参加人数（内訳）	参加人数　　８６名 ・一般　　４２名 ・障がい者　１０名 ・NPO 法人こまちハート・オブ・ゴールド（湯沢市）２名 ・山本地域スポーツクラブ（三種町）９名 ・湯沢市キンボールスポーツ協会（湯沢市）３名 ・MINASE　SMILE プロジェクト（湯沢市立皆瀬中学校）生徒４名、先生他４名 ・イタリア食堂ビランチャ（秋田市）１名 ・CommunityCafé ふれんどり（湯沢市）２名 ・愛光園拠点スタッフ　９名
講師	①　NPO 法人こまちハート・オブ・ゴールド（湯沢市） ➡ラダーゲッター、ボッチャ、モルック ②　山本地域スポーツクラブ（三種町） ➡バブルボール ③　秋田県キンボールスポーツ連盟（湯沢市） ➡キンボール
実施状況	本イベントは、年齢・性別・障がいの有無に関わらず、ニュースポーツの体験を通じて地域間の交流を深めるとともに、寒い時期でも幅広い世代が気軽に楽しめるニュースポーツに親しんでいただくことを目的として開催しました。 午前の部では、キンボール、ラダーゲッターをそれぞれ体験していただきました。キンボールでは初めて体験した方々もいて、自分よりも大きなボールを使い、体全体を使ってボールを飛ばすことが難しそうでしたが、参加者が協力し合いながら夢中でボールを追いかけている姿が印象的でした。 ラダーゲッターでは、紐でつながっている２個のボールをラダー（ハシゴ）に向かって投げる競技です。最初はラダーまでの距離感をつかめなかったり、思うように投げられなかったりして、苦戦している方もおり、思わぬところにボールが飛んでしまい、参加者は大笑いしながら体験していました。徐々にコツをつかみ始めると、直接狙う方もいれば、バウンドさせて引っ掛けることができるようになる方もいて、楽しく競技に取り組んでいました。 午後の部では、バブルスポーツ、ボッチャ／モルックをそれぞれ体験していただきました。バブルスポーツでは、活動している団体が限られているため、普段体験できないスポーツとあって、たくさんの方々が体験されました。大きなビニールボールを頭からかぶり、バブルにぶつかって弾け飛ぶ感覚は、今まで味わったことのない楽しさとスリルがありました。子供たちはいろいろな技にも挑戦し、逆立ちや前回り、バク転などを行っている姿を見ると、観ている方も

別紙１

	やってみたいという感覚になり、スポーツ経験の有無に関係なく楽しめるスポーツだと感じました。 ボッチャでは、パラスポーツの競技でも人気のある競技ですが、なかなか思うように目標の白いボールに届かなかったり、行き過ぎてしまったりと、ボールの行方に一喜一憂していました。徐々に投げ方のコツをつかんでくると、回転をかけて投げ方を工夫したり、ボールが思ったところにピタリとついたときには歓喜の声をあげたりと、様々な年齢層の方が楽しそうに投げている姿が印象的でした。 モルックでは、最初はコツがつかめずにうまく投げられなかった参加者も、練習を重ねるごとに上達し、狙いを定めて投げられるようになり、いつの間にか夢中になりながら楽しまれていました。棒を投げるシンプルな競技ではありますが、得点を競うとなれば誰もが予想できないミラクルが起きる競技であり、参加者の皆さんは面白さに魅了されていました。 また当事業のなかで地域の学校とも連携・協働し相互交流を図りたいと考えていましたので、湯沢市立皆瀬中学校のご協力のもと、「皆瀬スマイルカレー」を販売していただきました。皆瀬中学校では学校教育を通じて地域貢献ならびに　社会参画をテーマとして全校で取り組んでおり、当事業の趣旨でもある地域共生社会の実現に向けた取組が一致して、イベントに参画していただきました。 さらに、e スポーツ体験ブースを設けて、誰でも簡単に操作できるデバイスを使用してゲーム体験していただきました。 このたびのイベントは初めて体験する参加者が多かったのではないかと感じます。普段交流する機会が少ない世代間でも、年齢・性別・障がいの垣根を越えて交流を図る姿も見られ、どの参加者も和気あいあいとした雰囲気のなかで、ニュースポーツを楽しんでいただけました。

別紙 1

ラダーゲッター（NPO 法人こまちハート・オブ・ゴールド）

ラダーゲッター（NPO 法人こまちハート・オブ・ゴールド）

別紙 1

ラダーゲッター（NPO 法人こまちハート・オブ・ゴールド）

キンボール（秋田県キンボールスポーツ連盟）

別紙 1

キンボール（秋田県キンボールスポーツ連盟）

キンボール（秋田県キンボールスポーツ連盟）

別紙１

バブルボール（山本地域スポーツクラブ）

バブルボール（山本地域スポーツクラブ）

別紙 1

バブルボール（山本地域スポーツクラブ）

ボッチャ（NPO 法人こまちハート・オブ・ゴールド）

別紙 1

ボッチャ（NPO 法人こまちハート・オブ・ゴールド）

ボッチャ（NPO 法人こまちハート・オブ・ゴールド）

別紙 1

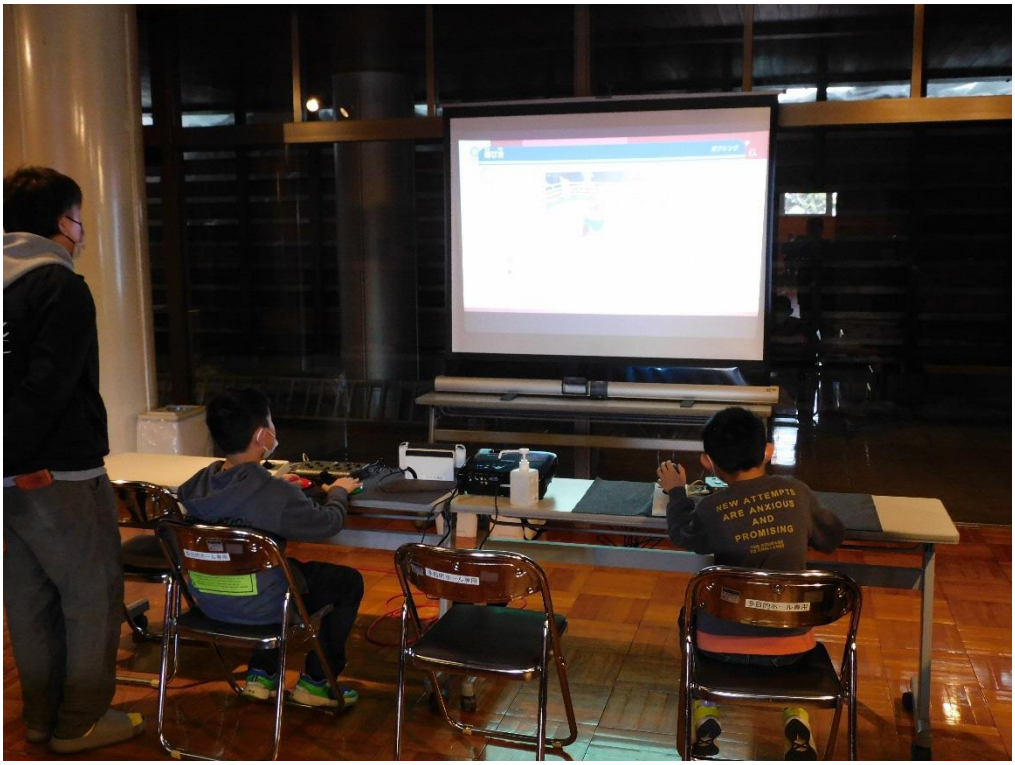
モルック（NPO 法人こまちハート・オブ・ゴールド）

モルック（NPO 法人こまちハート・オブ・ゴールド）

別紙 1

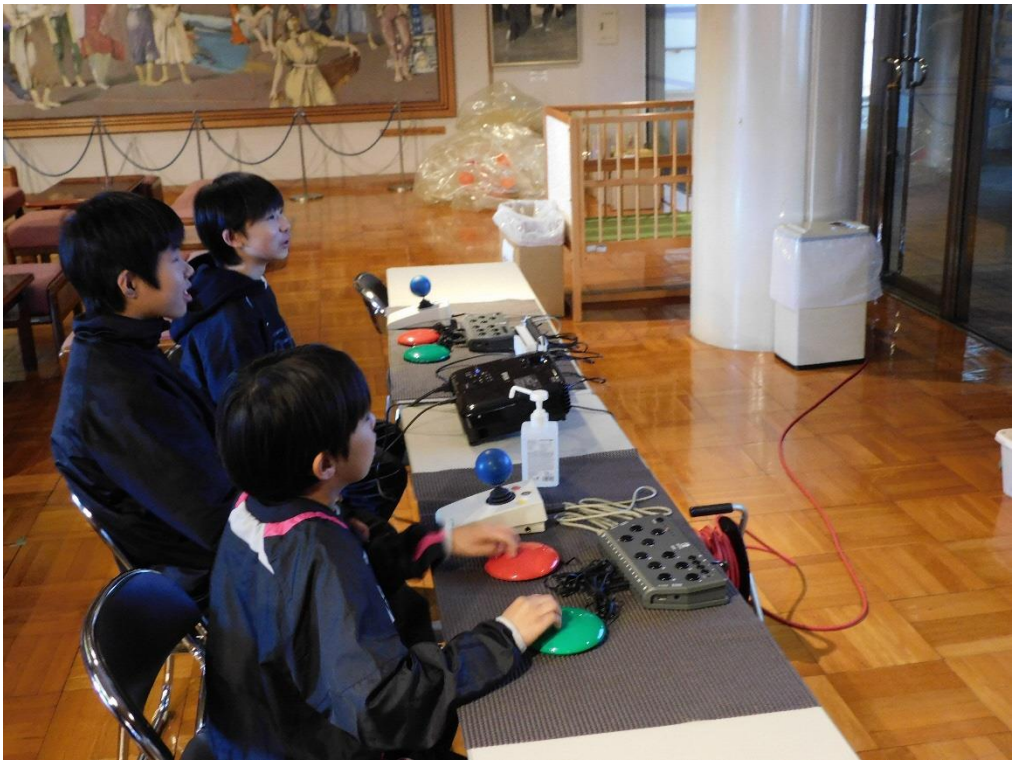
モルック（NPO 法人こまちハート・オブ・ゴールド）

e スポーツ体験ブース（地域生活支援拠点 愛光園）



別紙 1

eスポーツ体験ブース（地域生活支援拠点 愛光園）



皆瀬スマイルカレーの販売（MINASE SMILE プロジェクト）

別紙 1

皆瀬スマイルカレーの販売（MINASE SMILE プロジェクト）

皆瀬スマイルカレーの販売（MINASE SMILE プロジェクト）

別紙 1

イタリア食堂ビランチャ

CommunityCafé ふれんどり

別紙１

成果○と課題●	○広く地域の団体等に声をかけて、様々な専門分野の講師に協力していただきました。 ○地域の学校で取り組まれているプロジェクトと連携し、相互交流を図ることができました。 ○お昼を挟んで開催しましたが、１日を通して様々な年齢層の方が楽しく参加されていました。 ○皆瀬スマイルカレーがおいしかったです。 ○誰一人怪我なく、イベントを終えることができました。 ●講師に任せきりとなっていたところもあり、主催者側のスタッフもイベントに参加できる体制を整えておく必要がありました。 ●講師をしてくださった団体様の SNS や関係機関や湯沢市雄勝郡の学校等にチラシ配布を行い、イベント周知を図りましたが、天候が良すぎたことで思っていたよりも参加者が少ないと感じました。 ●車イスの方が利用されましたが、交流センター入口のスロープが屋根からの雪で埋まっており、合理的配慮がなされていませんでした。当日に主催者側で誰も気づかなかったことが原因でありましたので、冬期イベントを開催する際にはスロープがしっかりと利用できるよう配慮したいと思います。